

製品安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

製品の特定

製品名: KURE/CRC 5-56

製品分類: 防錆・潤滑剤(エアゾール)

主な用途: 各種金属パーツの防錆・潤滑

製品番号: 1001, 1045, 1026, 1004, 1005, 2001, 2004

整理番号: 1001-3

会社情報

会社名: 呉工業株式会社

住所: 〒153-0043 東京都目黒区東山 1-16-13

担当部門: 商品部

電話番号: 03-5773-2391

FAX 番号: 03-5773-2392

作成者: 商品部

制定日: 2002年4月1日

改定日: 2009年11月1日

2. 組成・成分情報

単一製品・混合物区別: 混合物

含有成分及び含有量:

化学名	含有量 wt	CAS No	安衛法	PRTR 法
潤滑添加剤	<10%	非公開	非該当	非該当
防錆添加剤	<10%	非公開	非該当	非該当
鉱物油	10~30%	非公開	該当	非該当
石油系溶剤	45~65%	非公開	非該当	非該当
プロパン	10~30%	74-98-6	非該当	非該当
ブタン	10~30%	106-97-8, 75-28-5	該当	非該当

3. 危険有害性の要約

最重要危険有害性:

有害性: 大量に吸い込むとめまい、頭痛を起すことがある。

環境影響: 有用な情報なし。

物理的及び化学的危険性: 引火性ガスを使用した製品の為、非常に引火し易い。

特定の危険有害性: 加圧された製品の為、温度が 40℃以上になるところに置くと容器が破裂する恐れがある。
消防法 危険物第4類 第3石油類

分類の名称: 高圧ガス、可燃性ガス

4. 応急措置

目に入った場合: 直ちに清浄水で15分以上洗眼し、症状により速やかに医師の診断を受けること。

皮膚に付着した場合: 石鹼水で十分に洗浄すること。外観の変化、痛みがある場合には速やかに医師の診断を受けること。

吸入した場合: 多量に蒸気・ミスト等を吸い込んだ場合、直ちに空気の新鮮な場所に移し、新鮮な空気を吸わせる。症状により速やかに医師の診断を受けること。

飲み込んだ場合: 水で良く口の中を洗浄する。直ちに医師の診断を受けること。

5. 火災時の措置

使用可能な消火剤: 炭酸ガス、泡、粉末、砂

消火方法: 可燃性のものは周囲から速やかに取り除くこと。
火災の現場にエアゾール容器があると破裂する恐れがある。
消火作業の際は、保護用具を着用して、風上から行うこと。
大規模火災には泡消火剤を使用すること。

消火者の保護: 適切な保護用具(耐熱服、手袋、呼吸保護マスク等)を着用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項:

- ① 保護用具を着用して作業を行い、蒸気の吸入や皮膚への接触を防止する。
- ② 漏出した場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。
- ③ 屋内で漏出した場合は、十分に換気を行う。

環境に対する注意事項:

漏出区域周辺を洗浄した洗浄液を、地面や排水溝等公共用水域に流さないよう留意する。

除去方法:

- ① 付近の着火源、高温体、可燃物を素早く取り除く。
- ② 少量の場合、砂等の不燃性のものに吸収させて、密閉できる容器に火花が発生しない用具を使用して回収する。

- ③ 多量の場合は、土のうなどで流出を防ぎ、安全な場所に導いてから密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。
- ④ 回収廃棄物は自ら処理するか、又は許可を受けた産業廃棄業者等に委託して処理する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い上の注意:

労働安全衛生法等の関連法規に準じて作業する。

- ① 密閉された場所で使用する場合は、局所排気装置を設け、適切な保護具を着用すること。
- ② 火気、スパーク、高温体の周囲で使用しないこと。
- ③ 電気機器は防爆構造にする。静電気、衝撃火花等による着火源を生じないようにする。
- ④ 通電している電気製品、電気装置の近くで使用すると、感電や、ショートによる発火でケガをすることがあるので、注意すること。

保管上の注意:

- ① 水がかかる所、湿気が多い場所、40℃以上になる所、直射日光の当たる場所に保管しないこと。
- ② 火気、スパーク、高温体から避けて保管する。
- ③ 保管時における関係法規に従う。

8. 暴露防止及び保護措置

組成物質の有害性及び暴露濃度基準:

成分	許容濃度	
	日本産業衛生学会	ACGIH
鉱物油(オイルミストとして)	—	5 mg/m ³ (TWA)
液化石油ガス	—	1800 mg/m ³ (TWA)

—: 規定値、勧告値 情報なし

設備対策: 屋内作業で使用する場合は、局所排気装置を設置する。

取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設ける。

保護具:

- 呼吸器保護具 必用に応じて防塵マスク(有機ガス用)を使用する。
- 目の保護具 必用に応じて防護眼鏡を使用する。
- 皮膚の保護具 必用に応じて耐油性手袋、保護衣を使用する。
- その他 導電性安全靴を使用する。

9. 物理及び化学的性質(液化石油ガスを除く)

内容液

外観: 淡黄色透明液体

密度: 0.82 g/cm³ (20℃-代表値)

引火点: 79 °C

溶解性: 水に不溶

10. 安定性及び反応性(液化石油ガスを除く)

安定性: 通常の条件下で安定

反応性: 酸化性なし、自己反応性なし、自然発火性なし

危険有害な分解物: 一酸化炭素

混合してならない物質: 強酸化剤

その他の危険性情報: 特に有用な情報なし

11. 有害性情報

急性毒性: 経ラット LD₅₀ 5g/kg 以上(推定)

12. 環境影響情報

製品に関する環境影響情報: 有用な情報なし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物:

- ① 廃棄は、各自治体の条例に従って行う。
- ② 事業者は産業廃棄物を自ら処理するか、又は許可を受けた産業廃棄業者等に委託して処理する。

汚染容器、包装:

必ず中身を使い切り、中身がないことを確認して、各自治体の条例、関連法規に基づいて廃棄する。

14. 輸送上の注意

- ① 輸送の際は、容器漏れの無いことを確かめ、荷崩れのないように処置を講ずる。
 - ② 引火性エアゾールなので「火気厳禁」。
- 共通: 取扱及び保管上の注意の各項に従う。
- 陸上輸送: 消防法や道路法などの定めるところに従う。
- 海上輸送: 船舶安全法に定めるところに従う。
- 航空輸送: 航空法に定めるところに従う。

国連分類及び国連番号:

国連分類 クラス 2.1

国連番号 1950(可燃性エアゾール)

15. 適用法令

消防法分類:	危険物第4類 第3石油類(非水溶性液体)危険等級Ⅲ
労働安全衛生法:	危険物 可燃性ガス
	通知対象物質 鉱油 10~30%
	ブタン 10~30%
	有機溶剤中毒予防規則 非該当
PRTR法:	非該当
毒物及び劇物取締法:	非該当
高圧ガス保安法:	適用除外

16. その他の情報

引用文献等:

製品安全データシート作成指針 社団法人日本化学工業協会 1992年
各原料メーカーのMSDS

*備考

使用される環境及び条件については、弊社がコントロールできないため、この情報の使用によって直接的または間接的に損失もしくは損害が生じたとしても、弊社はいかなる責任を負わない。
また本データシートの内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しているが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではない。
全ての化学品には未知の有害性が有り得るため、取扱いには細心の注意が必要である。
本品の適正に関する決定は、使用者の責任において行うこと。